

平成 30 年 5 月度活動報告

1. 総括

怒涛の5月も皆様に支えて頂きながら議員活動に励ませて頂きました。ありがとうございました。5月は様々な公務、総会、会合が盛りだくさんであり、目が回る日々でありましたが、23日には議会報告会、また28日にはお世話になっている地域で個人の市政報告会も開催させて頂き、多くの市民の皆様方お話を聞く機会を頂きました。賜りましたご意見、ご要望をしっかりと自分の頭で考え、市政改善に向けて取り組んで参ります。

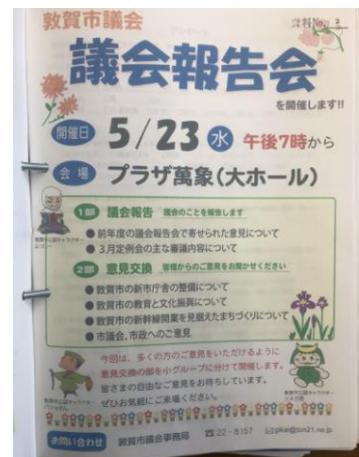
敦賀市は今後5年間で大きく市政が動いていきます。2022年の北陸新幹線敦賀開業の受け皿作りとしての中心市街地の再整備が現在断続的に続く中、前年の2021年には新庁舎建替えがあります。2020年には併設の小中一貫校である角鹿小中学校開校、本年2018年は50年ぶり福井国体が開催され、敦賀市でも競泳をはじめ6競技が競われます。それらに向けて今後大きな予算が投入される計画になっております。議員としてはそのような予算に無駄がないか調査、審査をしていく事は当然のことではありますが、平行して**基礎自治体が一番に果たさなければならない市民の生活に直結した福祉、教育、そして安全な町を担保するインフラ整備が疎かにならないように常に行政側と議論していかなければならないと感じております。**

市政報告会などで頂きますご意見の多くは、日々の生活の改善や子育て環境の改善、住んでいる地域の安全安心の要望であります。まずは納税者である市民の身近な市政を改善して、満足ができる行政に努めるべきと考えます。残り約10カ月の市議の任期になりましたが、今一度、どのような政治・行政を行えば市民の皆様が自分達の街敦賀をより好きになり、大切にしたいと感じられるかをしっかりと考えて参ります。

2. 議会報告会、市政報告会について

去る5月23日に議会報告会、5月28日個人市政報告会を開催した。議会報告会は敦賀市議会議員23名全員が参加し、平成30年度当初予算の審議結果の報告や市政全般についての意見交換会を行った。ご参加頂いた市民の方々には活発なご意見を賜り、しっかりと噛みしめていかないといけないと感じた。反省点としては開催にあたり、もっと若い世代に参加が増えるような工夫を行わなければならないと感じた。議会報告会を担当している広報広聴委員会(堀居所属)でも来年度以降市内の高校生に向けての議会報告会をしていく話し合いをしているので、実現できるように準備を進めていきたい。

個人の市政報告会では当選してからの約3年間の市政への取組みを報告させて頂いた。前半約20分でお世話になっている地域の諸課題への取組みや、また個人的に思い入れのある市政への取組み等を主に報告した。後半の約40分で質疑応答、意見交換し約20名の方々にご参加頂く中で活発なご意見、ご要望を頂いた。頂いたご要望については、すでに市担当部局や県の担当部局と面会して順次問題改善できるように直ぐに取組みました。個人の市政報告会については今後お世話になっている地域で、毎月実施する予定であり、より多くの市民の方々から直にご意見を頂ける機会をしっかりと作っていきたい。頑張ります！！



以上